

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイダージュニア西浦和教室（児童発達）			
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～	2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～	2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くの項目で肯定的な評価を得ており、支援内容や環境について概ね満足いただいている。	子ども一人ひとりの特性に応じた支援や、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	保護者への説明や情報提供の機会を増やし、支援内容や活動の様子をより分かりやすく伝えていく。
2	子ども一人ひとりに応じた支援や関わりが適切に行われている。	活動内容を工夫し、様々な経験ができる機会を大切にしている。	連絡帳やお便り、掲示物等を活用し、事業所の取り組みを周知していく。
3	安全面や支援体制についても安定した評価を得ており、安心して利用できる環境が整っている。	職員間での情報共有を行い、支援の質の維持・工場に取り組んでいる。	保護者とのコミュニケーション機会を増やし、意見や要望を把握しながら支援の質の向上につなげていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の取り組みが十分に伝わっていない可能性がある。	日々の支援内容や事業所の取り組みについて、保護者へ伝える機会が十分に確保できていなかった。	個別支援計画や日々の様子について丁寧に説明し、保護者への情報共有を強化する。
2	職員体制や活動内容、支援の意図について、保護者への説明が不足している部分がある。	職員体制や支援の意図、計画に関する説明が不足していた。	連絡帳やお便り、掲示物等を活用し、支援内容や事業所の取り組みの見える化を図る。
3	交流機会や防災に関する取り組みについて、認知が十分でない状況が見られる。	交流機会や避難訓練等の実施状況について、周知方法が不十分であった。	交流機会や避難訓練等の実施状況について積極的に周知し、保護者の理解と安心感につなげる。